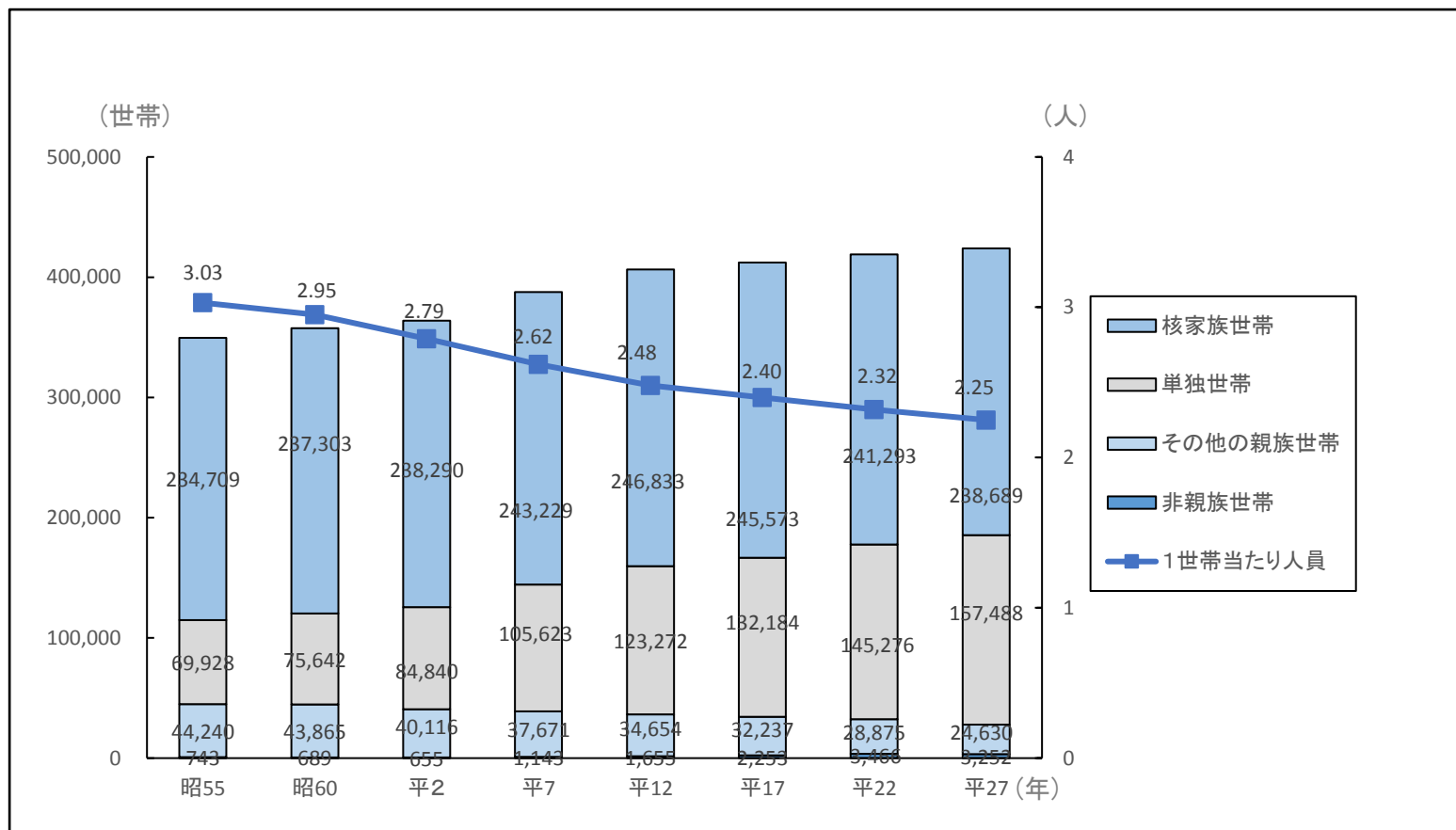


図 家族類型別世帯数と1世帯当たり人員の推移（北九州市）

一般世帯を家族類型別に見ると、「核家族世帯」は増加を続けてきたが、平成12年をピークに減少に転換。「単独世帯」は35年間で約2.3倍に増加、平成27年は過去最高を更新。一世帯当たりの人員は減少の一途である。



(注) 1世帯当たり人員=人口総数/世帯数

(資料) 総務省統計局『国勢調査』

2016—追加